

サンゴ礁は、地球上の生物がつくる最大の構造物です。サンゴ礁をつくるサンゴは造礁サンゴとよばれる動物で、深い海に棲む宝石サンゴと区別されます。

イソギンチャクやクラゲと同じ刺胞動物の仲間、餌を捕らえる小さな毒矢を収めた花びらのような触手と、その中心にある口、袋状の消化器官からなる原生動物だ。

ほとんどのサンゴは海底に固着し、植物が枝分かれますように分身を増やすとともに、石灰質の骨格をつくり、それ

サンゴってなに？

サンゴって聞いて最初に思い浮かぶものは？南の島のサンゴ礁？それともアクセサリーでしようか。そもそも植物なのか動物なのかもはつきりわからない。そんなあなたのために今回は「サンゴ特集」です。

サンゴってなに？

餌の捕獲は「ポリプ」が行います。餌の捕獲は触手を広げます。餌の捕獲は触手を広げます。餌の捕獲は触手を広げます。

サンゴの食事

を基盤として集団（群体）のまま生活している。普通はこの群体をサンゴと呼び、イソギンチャクに似た一個体はポリプ（サンゴ虫）と呼んでいる。たいていのポリプは直径一ミリから二センチ程度とごく小さいが、直径数メートルにまで育った大きな群体には、それが数百万個集まっていることもある。昼間は多くのサンゴがポリプを骨格の穴の中に引っ込めている。

共生藻として褐虫藻を体内に持ち光合成を行い、これによって作り出された物質を利用して石灰質の骨格を生産します。

サンゴ礁ではさまざまな共生が見られ、イソギンチャクとクマノミはその最もよく知られたもの。



ともに口まで運ぶなどして、動物プランクトンはもちろん、ゴカイや小魚までも捕食し、消化した残りを同じ口から吐き



サンゴの産卵

ポリプの触手



今月号では、サンゴの生態を調査しました。「サンゴが地球の環境にどのように影響しているのか」また、「水温の変化によるサンゴの白化現象」「陸地の開拓などにより海に赤土が流れ出しサンゴを覆ってしまう」など、いろいろ現象を来月号では取り上げる予定です。お楽しみに。

編集後記

PRIVATE

PRIVATE